

熊野神社周辺に於ける文化財と文化財を結ぶ古道の再生

◆事業の目的・背景

区内には町指定重要文化財熊野神社本殿の彫刻と同敷地内に町指定重要文化財行屋の2カ所があるが、存在が忘れ去られようとしている。建物を管理している組織東講社と熊野神社の神事等を手伝っている若者を中心としたボランティア熊建て会を中心に互いに協力し、祖先から伝わる歴史、文化、伝統を伝え区民の手弁当による作業を通じ、区民全体が共有する遺産を伝える再生事業に取り組む。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
平成30年	<ul style="list-style-type: none">・町道熊野神社参道線横の道路拡張事業・参道入り口より幅5メートル長さ25メートルの道の整備・参道中腹に駐車場の設置	700,000円
令和元年 (実施中)	<ul style="list-style-type: none">・参道途中に水洗トイレ・水道の設置・文化財行屋周辺の駐車場の整備・地下水対策として配水場パイプの再整備	1,000,000円

◆事業成果

- ・参道が一変するほど駐車スペースが確保できた。
- ・未完成ながら（舗装）には至っていない。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・湧水がかなりあり、今回利用した排水パイプでは十分処理できなく、再度管の引き直しが必要となった。
- ・かなり専門的なスキルが必要であり、アドバイスを受けたが日程的なものがあり段取りに無理があった。